

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		駅周辺維持整備事業		担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	4102	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市駅周辺都市基盤整備基金条例				
	小項目	2	公共交通の維持確保と交通安全の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		駅周辺整備を進めることにより、交通結節点としての鉄道駅の機能向上を図る。								
目的 ※何のために		駅利用者の円滑な交通の確保								
対象 ※誰・何を対象に		誰：駅利用者								
手段 ※どのように		都市基盤整備の推進								
成果 ※何を求めるか		鉄道駅の機能向上								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	駅周辺都市基盤整備基金積立金	549,853
本事業の 主な業務		・基金積立					・			
		・駅周辺整備に関する企画調整					・			
		・駐車場・路外駐車場に関する総合調整					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金
事業費	予算(現額)	918,000	576,000	669,000	498,000	550,000	444,000
	決算額	917,023	575,064	668,626	497,657	549,853	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	536,000	541,000	497,657	549,853	443,000
		一般財源	381,023	34,064	0	0	1,000
人件費	従事職員数(人)	0.19	0.15	0.15	0.30	0.37	0.40
	人件費相当試算※	1,478,010	1,167,300	1,179,150	2,444,400	2,871,909	3,252,539
総事業費試算		2,395,033	1,742,364	1,847,776	2,942,057	3,421,762	3,696,539

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	駅周辺整備件数	目標値	件						
		実績値		0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		※近年では、H 2 6 に深谷駅南口スロープ設置工事など行っている。						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	今年度も深谷市内の駅周辺において整備を要する事業が発生しなかった。 今後も駅利用者の要望等から必要性を見極め、必要に応じて事業展開を検討したい。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	今年度も深谷市内の駅周辺において整備を要する事業が発生しなかった。 今後も駅利用者の要望等から必要性を見極め、必要に応じて事業展開を検討したい。
			評価者 市街地整備係長 荒谷 匠

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	本事業については、効率的且つ効果的な駅周辺整備を行うため、基金を活用し、実施時期及びその内容について検討しているものである。
			評価者 市街地整備係長 荒谷 匠

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新型コロナウイルス感染症及び人口減少に伴い、鉄道利用者は減少傾向にある。運賃減少を理由に鉄道事業者による設備投資が縮小された今、鉄道駅周辺施設の維持向上、更には、駅周辺の再整備など、単に補修等の維持修繕費に充てるのではなく、必要性を判断し行う必要がある。
達成状況及び その効果	前年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、本事業については、状況を注視し、実施する内容及びその時期を検討していたものである。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	駅周辺維持整備事業	担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	4102
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>深谷市の駅周辺整備に関しては、要望など利用者ニーズを基に機能向上を検討したい。鉄道事業者と連携を図りつつ、無駄にならないよう必要性を判断しながら事業実施を検討したい。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	都市整備部次長兼都市計画課長 中島 隆				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	新型コロナウイルス感染症及び人口減少に伴い、鉄道利用者は減少傾向にある。運賃減少を理由に鉄道事業者による設備投資が縮小された今、鉄道駅周辺施設の維持向上、更には、駅周辺の再整備など、単に補修等の維持修繕費に充てるのではなく、必要性を判断し行う必要がある。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	必要に応じ、市内の駅周辺整備計画等、駅利用者の利便性向上に資する施策を考案し、基金の有効活用に努めたい。

8. 評価指標グラフ

